

「コース制」で人材育成

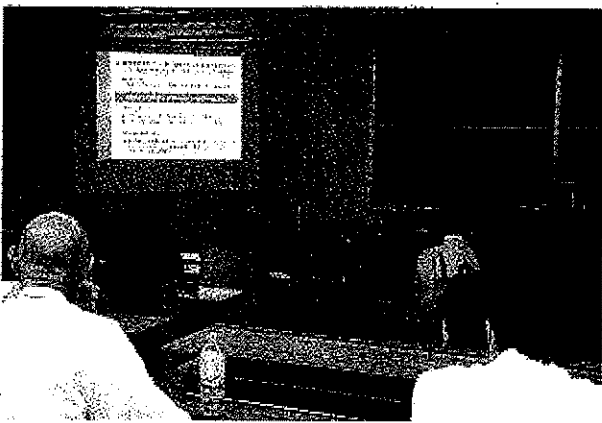
新潟産大 住吉副学長が研究報告

新潟大学の住吉隆行副学長が「コース制」への移行とその成果について語った。教員向けの研究報告会「少子化時代の地方小規模大学の生き残り」の中で発表した。

同大は本年度から工学系6コース制を導入した。経済経営学部に「経済分析・実学実習」「企業経営・情報戦略」「企業会計・情報戦略」の3コースを設けた。

住吉副学長は少子化に伴い定員割れが続く現状に恐れ、地域と連携して独自性を打ち出す必要性を指摘。大学は「どこかには入れない」という時代から、挑戦する人材を育成する方向への転換が求められるとし、教員養成の充実が不可欠と訴えた。

これまで「方向的だった」課程から、学生と教員が協働するアクティブな学びへの転換に加え、教員3人でチームを組むコース制導入で、学生が地域社会の課題に挑む仕組みを整えたと紹介。「大学は学生を育てる場。学生が挑戦したくなるきっかけづくりが重要。その挑戦と成功体験が積み重なることで、学生は成長する。その環境が地域や社会からの信頼となり、



「コース制」移行の成果などを語る住吉副学長。新潟産大

大学と学生にとって最善の道となる」と結んだ。

同大水産部監督の佐々木洋輔講師(36)は「私が担当するコースは教員を増える予定で、それにより、私もさらに学生に向き合えるようになる」と話した。

若者の1票バスで後押し

市選管 2大学で移動投票所

若者の投票率向上を図ろうと、市選挙管理委員会が9日、今回の参院選で市内2大学にバスを活用した「移動期日前投票所」を初めて設け、学生ら47人が1票を投じた。大学での移動期日前投票は県内でも初めての試みだ。

市選管によると、9年前の参院選の年代別投票率は、18・19歳が32・52%、20・24歳が49・79%で、全体の58・48%を大きく下回っている。この日の対象は市内在住の学生と教職員。ノンステップバス内には記載台と投票箱が設置さ

れ、地盤立会人も同席した。

新潟工大での投票者は32人。このうち2年女子学生は「いつも家の近くの投票所に行っているのでも、期日前投票は初めて。バス内は冷暖も効いてスムーズに投票できた。自分の1票で少しでも社会が良くなればいいな、という思いで投票した」と話した。

一方、新潟大は16人。4年男子学生は「この期日前投票のため、今日は大学に来た。佐渡市出身でアパート近くの投票所は少し入りづらくて避けていたけれど、大学なら気軽に行け

バスを使った移動期日前投票所で1票を投じる学生。9日、新潟工大



る。投票所が大学に来るのは本当にありがたい」と話した。

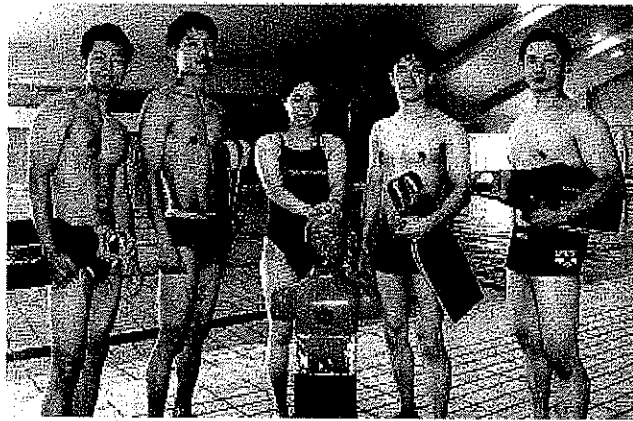
東北救助技術大会へ 海のまちの誇り 勇泳で雷屋等奮闘

市消防本部5人

第53回東北地区支部消防救助技術指導会・水上の部が16日新潟市で開かれる。柏崎市消防本部は個人・団体3種目に5人が出場を予定する。2022年まで7大会連続で、いずれかの種目で全国大会出場権を獲得してきたが、23年はこれを逃し、24年は欠場。2年ぶりに立つ舞台で、選手たちは奮闘に燃える。

水上の部は水難現場での安全・確実・迅速な人命救助技術を競う。全国への予選を兼ねたこの大会では、7県の代表が計7種目で日頃の訓練成果を披露する。4人1組の「水中検索」は、第一泳者が水筒、第二泳者が水中をそれぞれ探検し、水没する救助者を発見して引き揚げ、第三・第四泳者が水筒を回収する。市消防本部は新チームながら技術・連携を磨き上げ、飛躍的にタイムを短縮。強豪・八戸市消防本部（青森県）の脅威を前に奮闘する。四泳者が協力して搬送する。市消防本部は新チームながら技術・連携を磨き上げ、飛躍的にタイムを短縮。強豪・八戸市消防本部（青森県）の脅威を前に奮闘する。

四泳者が協力して搬送する。市消防本部は新チームながら技術・連携を磨き上げ、飛躍的にタイムを短縮。強豪・八戸市消防本部（青森県）の脅威を前に奮闘する。市消防本部は新チームながら技術・連携を磨き上げ、飛躍的にタイムを短縮。強豪・八戸市消防本部（青森県）の脅威を前に奮闘する。



四泳者が協力して搬送する。市消防本部は新チームながら技術・連携を磨き上げ、飛躍的にタイムを短縮。強豪・八戸市消防本部（青森県）の脅威を前に奮闘する。市消防本部は新チームながら技術・連携を磨き上げ、飛躍的にタイムを短縮。強豪・八戸市消防本部（青森県）の脅威を前に奮闘する。

四泳者が協力して搬送する。市消防本部は新チームながら技術・連携を磨き上げ、飛躍的にタイムを短縮。強豪・八戸市消防本部（青森県）の脅威を前に奮闘する。市消防本部は新チームながら技術・連携を磨き上げ、飛躍的にタイムを短縮。強豪・八戸市消防本部（青森県）の脅威を前に奮闘する。

東北地区支部消防救助技術指導会・水上の部に出場する選手5人（左から）

回出場時はタイムが1分40秒。東北代表を逃した。予選と練習してきたことが発揮できはいい。体力的には問題ない」とダブル入賞を目指す。

「回出場」には、田中真由・消防士（23）が初出場する。同大会は昨年の出場は19年大会以来。要救助者を運びながら泳ぐ水中消防士は「重さや動きの制限があり、金銭感覚が通う。でも入賞がうれしくなっていた大会。これからの成長を見せたい」と誓った。出場選手は次の通り。

水中検索 井沢快（田中真由・消防士（23）が初出場する。同大会は昨年の出場は19年大会以来。要救助者を運びながら泳ぐ水中消防士は「重さや動きの制限があり、金銭感覚が通う。でも入賞がうれしくなっていた大会。これからの成長を見せたい」と誓った。出場選手は次の通り。

「新治産大」 地域に響く 大域をみる

——実践活動レポート——

青年会事務所と学生ら

市内バス

ツアー企画

柏崎青年会事務所（柏崎JC）主催の「地域の魅力を伝える」ツアーが、6月15日に開催された。小学生・6年生を対象に、地域の魅力を伝えることを目的とした取り組みで、本会学生9人が参加。市内バスツアーの魅力を小学生たちに伝えるだけでなく、柏崎を

学生たちはツアー当日の運営参加にとりまら

ず、4月から柏崎JCの

方々のミーティングを

重ね、紙芝居形式の解説

シートやリーフレット等

の作成に奮闘した。八坂

神社、川内ダム、樟子舞

会館の3チームに分かれ

て準備を進めたが、歴史

的・文化的背景の価値を

訪問先についての情報を

整理する作業に挑戦しつ

つも、学生自身が新たな

地域の魅力を発見する成

果の機会となった。

川内ダムの案内を担当

「大域をみる」は、3年の

高橋悠希さんは「ダムと

いう比較的地域を解説の

魅力を小学生にどう伝え

るか苦労したが、インフ

ラにも地域の特色が出て

いることを喜び、いい経

験になった。今回だけで

は伝えきれなかった地域

の魅力もあるので、今後

もこのような活動に積極

的に関わっていきたい」

と振り返った。

柏崎JC地域活動委員

委員長の佐藤尚季さん

は「子どもたちに興味を

持つてもらったため、学

生たちが時間をかけて

資料作成や現場視察、イ

ンタビュをする姿を見

て非常に感動した。地域

が元気になるために欠

かせないピースとして、

これからも若者・学生の

視察で貢献してもらい

たい」と今後への期待を

込めた。

柏崎JCと本学は昨年

12月に連携協定に関する

協定を締結しており、今

後も積極的に両者の協働

（

の機会を増やし、柏崎地

域の活性化に向けて一層

まい進していきたい。

経済学部准教授・榎田

恭子

（同大学地域連携センタ







「たる仁和賀」威勢よく
ぎおん柏崎まつり

熱気と興奮 パワー全開

「たる仁和賀」威勢よく
ぎおん柏崎まつり

市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、
市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、

市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、
市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、



市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、
市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、

市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、
市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、

市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、
市内各地で繰り広げられた、
「たる仁和賀」の熱気と興奮が、